

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和54年4月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.302

スポーツ都市宣言のまちにふさわしく、今日もあちこちでスポーツを愛し、スポーツに親しみ、健康な心とからだが養われています。
明目の伊万里を創造するために。

(写真は、3月4日に催された伊万里町民走ろう会のスナップです。)

'54

4月

昭和54年度重点施策

地域づくり・環境づくり・社会づくりを

竹内市長所信を表明

昭和54年第1回定例市議会は3月6日から23日まで開かれ、昭和53年度補正予算案をはじめ、昭和54年度予算案など37議案が審議可決されました。竹内市長は、開会にあたり119億2,000万円にのぼる昭和54年度一般会計予算と市政について所信を述べました。

そのあらましをお知らせします。

生きがいのある都市を目指し

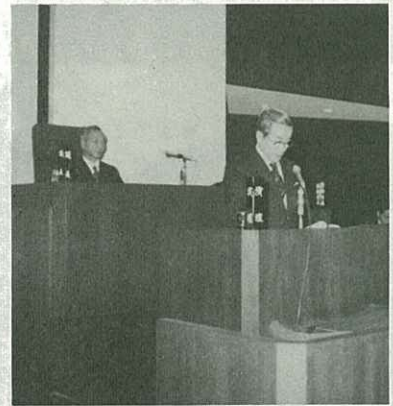
昭和29年本市が誕生し、はや25周年を迎えるに至りました。

その間、四半世紀にわたる歩みは必ずしも平穏な道であったとは申せません。

かつては、エネルギーの主力であった石炭産業が賑わいを見せていたわが伊万里市も、国のエネルギー政策によって、閉山の余儀なきに至った炭鉱とこれに伴う人口の流出、また、幾度かの大水害に尊い人命を失い、甚大な被害に打ちひしがれながら懸命に立ち上った市民の力、水害に伴う伊万里川の拡幅、閉山後の浮揚対策として合板企業の誘致、市の中核産業にと市民の大きな期待を担った造船企業

誘致、市民の寄りどころである市庁舎の建設、また、6万市民がこぞって参加した若楠国体、これを契機とした体力づくり日本一の栄冠、観光産業道路としての国見トンネルの開通、経済活動の低迷による特定不況地域の指定など過去幾多の浮沈や苦しい行財政運営のなかにも、市政の方向は発展へと一步一步確実な歩みをするして来たと確信いたします。

この間、日本経済はその経済的豊かさを求め、わきめもふらずまい進し、今日の繁栄を築くことができましたが、反面、地域社会の過密過疎現象をはじめ自然破壊、公害、物価、交通な



ど生活環境の破壊と急激な変化をもたらし、人間性の荒廃と道徳の喪失などさまざまな問題を惹起し、私達にその解決を迫って来ていると言っても過言ではありません。

そして、その解決には、大都市への人口と産業の集中を抑制し、地方を振興することが唯一の方法だと思えます。わが国には幾多の地方都市が存在していますが、これらの多くの地方都市は、いまだ完成されてないが故に、個性的でゆとりがあり心のふれあいのなかに、市民生活を十分に満足させてくれるすぐ

とにした。病気の中で最も死亡率の高いのが脳卒中、ガン、心臓病であるから、まず市民病院の改築を機会に頭脳層診断装置など脳欠陥に対する高性能の機器を備えて、脳卒中や交通事故などの脳損傷に対応し、ガンについても精密なものについて大学やガン研等にお願ひするとして、定期的或は突発的検査に一応手がかりとなる検査器をおき心臓病については差し当り小学校一年生と中学校一年生の学童心臓検診から始め将来は住民全部の心電図にまで普及して行きたい。いま休日急患センターが出来ているが、市民の疾病の予防と検診には保健センターが必要で本年度建設に運びたい。

伊万里市は昭和五十二年体力づくり日本一になったが、これに疾病の減少日本一が加わらなければ「長寿の町・伊万里市」にはならない。

皆が天寿を全うして、自然死のできる町になれば人の世の悲しみもへってどれほど住みよくなるだろうかと心からそれを念願し、夢といわれて近づきたい。(竹)

れた都市としての可能性を秘めており、これからのわが国の発展に欠くことのできない存在であり、自然と人間の調和した、「地方時代の幕あけ」の時代が到来しつつあるものと考えております。

さきの第三次全国総合開発計画の中心的理念も、地方定住構想にあります。それは、自然環境・生活環境・生産環境が調和し、健康で文化的な人間居住の総合的環境を形成し、豊かな地方生活圏を確立していこうとするものであります。もちろんそれぞれの地方都市は、固有の歴史、地理、自然の条件をもつ

ており、その条件が最大限に生かされ、個性を生みだしてこそ真の豊かさが達成できるものと存じます。

いま、伊万里市にとっての定住構想を実現するための最大の課題は、生活環境の整備を図りながら工業開発を積極的に行い雇用場を確保するとともに歴史と文化の高揚による市民の心のよりどころを形成することにあります。

いまこそ、6万市民が心を一つにして、新しい都市づくりにすべての力を結集し、お互いの理解と信頼を培い、地域生活や伝統文化を見直し、郷土愛に基

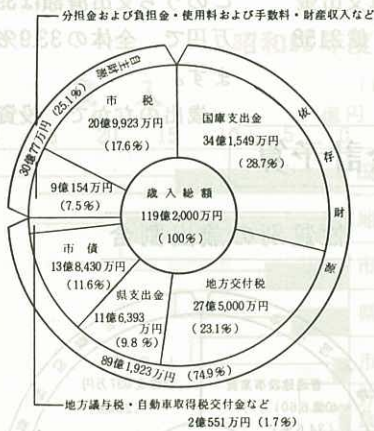
づく都市づくりが展開されなければなりません。

私は、市政担当以来「豊かで住みよい、生きがいのある都市づくり」を基本理念として市政に携わってまいりましたが、地方時代のスタートに当たり、なおこの基本理念を堅持しながら「産業と自然が調和する活力ある都市」、「健康で安全な暮らしができる都市」、「心豊かで文化あふれる都市」をめざして

- ◆ 活力ある地域づくり
 - ◆ 住みよい環境づくり
 - ◆ 人間性豊かな社会づくり
- の実現にむけ、最善の努力を傾注する決意であります。

昭和54年度 一般会計予算

財源別の歳入割合



性質別の歳出割合



予防や検診に力を入れることとして少しでも病気になることを防ぎたいと、病気の折を何とかしてなくしたいと思っている。天折の原因には事故と病気があるのでその対策をいそがねばならない。

そこで今年度の市政方針として少しでも病気になることを防ぎたいと、病気の折を何とかしてなくしたいと思っている。天折の原因には事故と病気があるのでその対策をいそがねばならない。

私は伊万里市からこの天折を何とかしてなくしたいと思っている。天折の原因には事故と病気があるのでその対策をいそがねばならない。

人生において天折ほど悲しいものはない。本人もさぞかし残念であろうし、またあとに残されたものもあきらめがつかない。

五十一歳といえば、これからが病院長として最も信頼を受けていける年で、その天折が何としても惜しまれてならない。

去る三月七日教育委員長が世戸常徳氏の教育委員会葬が行われた。生前の徳を慕って市民会館一杯の市民の方々の参列をいただいていた。みなの方に献花して貰った。



昭和53年度予算上半期の収支状況

昭和53年度上半期（4月～9月）の予算現額は、一般会計117億5,399万円、特別会計24億4,640万円で、52年度の同期に比べると一般会計で21億6,062万円（122.5%）、特別会計では1億1,872万円（105.1%）それぞれ増加しています。

9月末までに執行した予算のあらまは、次のとおりです。

一般会計

＝歳入＝

執行率 37.5%

予算現額117億5,399万円のうち、市税などの自主財源は、30億4,532万円（25.9%）で、地方交付税、国および県支出金などの依存財源が87億867万円

と74.1%を占めており、国や県の資金などを十分に活用した財政運営がなされているといえます。

昭和53年度上半期（4月～9月）までの収入済額は44億931万円で、歳入全体の37.5%になり、その主なものは、地方交付税18億6,055万円、国庫支出金13億7,276万円、市税7億2,158万円などです。

＝歳出＝

執行率 33.9%

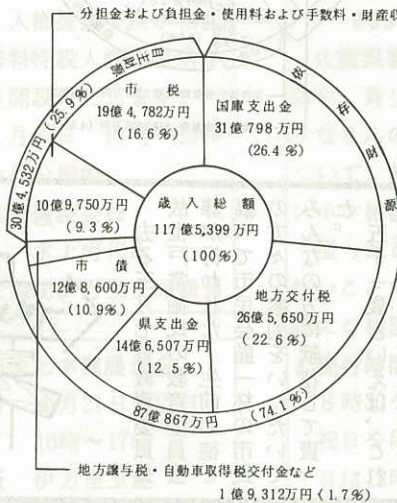
予算現額117億5,399万円を性質別に分析すると、人件費、扶助費などの消費的経費に57億9,401万円（49.3%）、普通建設事業費、災害復旧費、失業対策事業などの投資的経費に50億7,459万円（43.2%）、起債の元利償還金、一時借入金利子などのその他の経費に8億8,539万円（7.5%）となっています。

昭和53年度上半期（4月～9月）までの予算執行状況は、総額68億3,185万円（41.9%）でこのうち支出済額は39億9,210万円で、全体の33.9%にあたります。

歳出のなかで、投資的経費の

昭和53年度一般会計予算

財源別の歳入割合



性質別の歳出割合



普通建設事業をみると、**民生費**では、隣保館や児童センター建設工事に5,010万円、福和地区下排水路工事に595万円が、**衛生費**では、ゴミ焼却場施設補修工事に1,076万円が支出されました。

また、**農林水産業費**として、団体営農地開発事業に1億200万円、農道整備工事380万円、圃場整備工事4,600万円、林道西大久保線開設工事1,790万円波多津漁港物揚場取付工事など974万円が、**土木費**では、市道辻～畑津線災害防除工事840万円、市道高瀬～川西線改良工事1,700万円、市道横野1号線改良工事1,670万円、第1佐代川橋改築工事2,785万円、都市計画事業（街路）の先行取得買戻3億4,404万円、立花市営住宅

(第2種)建設工事24戸分1億2,100万円が、**消防費**では、立花台地に新設する防火水槽工事238万円が、**教育費**では、山代西小学校屋内運動場増築工事に5,640万円、大川内小学校危険校舎改築工事8,118万円、大坪公民館建設工事など6,550万円

や国見台に夜間照明施設建設工事に3,150万円が予算執行されました。

普通建設事業費そのものは、40億6,601万円で全体の34.6%にすぎませんが、豊かな都市づくりを目指して種々の事業が行われています。

特別会計

予算執行状況 S53.9月30現在

(単位：万円)

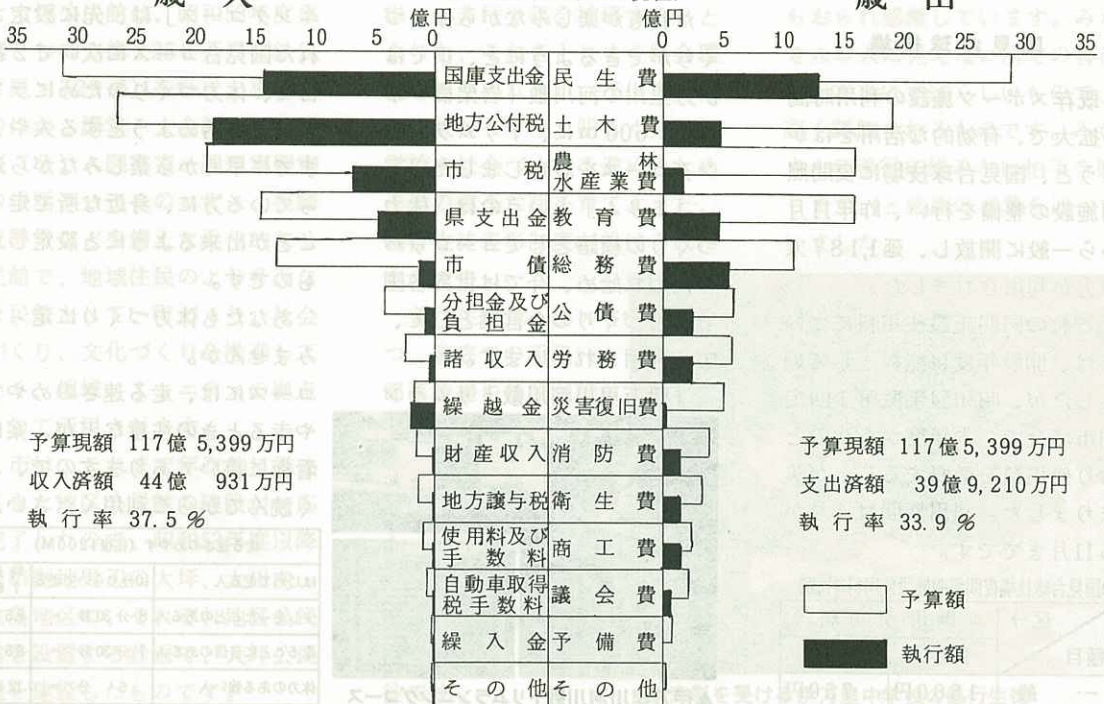
区 分	入			出		
	歳 入	歳 出	収 入 率 %	歳 入	歳 出	収 入 率 %
簡 易 水 道	15,467	3,764	24.3	15,467	3,306	21.4
国民健康保険	185,906	76,964	41.4	185,906	64,117	34.5
と 畜 場	881	127	14.4	881	741	84.1
同和地区住宅改修資金貸付	424	123	29.0	424	44	10.4
立花台地事業	29,310	610	2.1	29,310	17,843	60.9
伊開万里湾事業	12,652	0	0	12,652	0	0
合 計	244,640	81,588	33.4	244,640	86,051	35.2

昭和53年度一般会計予算執行状況

(昭和53年9月30日現在)

歳 入

歳 出



国見台にテニスコート完成

1年間は無料開放

5月初めにオープン

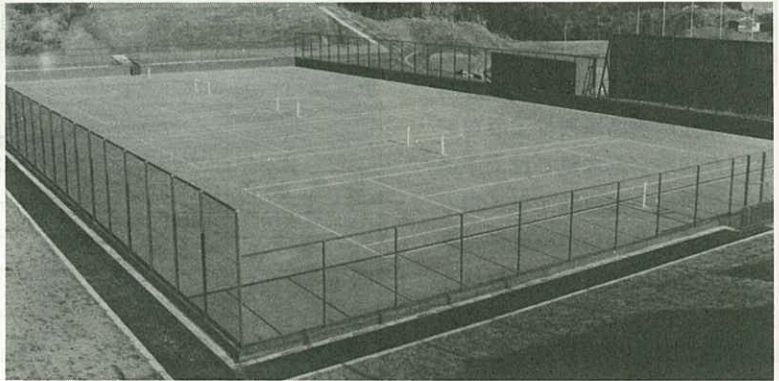
国見台公園に、テニスコート(4面)が完成しました。

このテニスコートは、昭和53年度事業で総工費2,000万円をかけ、国見台野球場スコアボード裏の谷間を埋めて建設したもので、観覧スタンドつきの本格的な庭球場です。

現在、更衣室やトイレ、給水樹木の植栽など付帯施設の整備を行っていますので、一般開放は5月初めになる予定です。

使用料については、1年間は無料開放で昭和55年4月から有料となります。

名称は、国見台庭球場とし、これまでの伊万里学園高校の横にある伊万里市庭球場(2面)は陣内庭球場と改められました



◎国見台庭球場使用料(1面)
(昭和55年4月より施行)

種目	専用使用料		一般使用料	
	半日	1日	半日	1日
一般	200円	400円	40円	80円
学生・生徒	100円	200円	20円	40円

※上記使用料は、昭和55年4月1日から施行されますので、今年度の使用料は無料です。

あなたも走ってみませんか

伊万里川河川敷 (岩栗橋～幸橋間)

トリムランニングコース

だれもが楽しみながら体力づくりができるようにと、市では伊万里川の河川敷「岩栗橋～幸橋間」600mに、トリムランニングコースを設定しました。

「トリム」というのは、体力づくりの標語としてヨーロッパで使われ始め、今では世界各国で体力づくりの合言葉として、広く利用されています。

「伊万里川河川敷トリムラン



▲伊万里川河川敷トリムランニングコース

ニングコース」は、先に設定された国見台コースに次いで2番目で、体力づくりのためにランニングを始めようとする人や、すでに早くから楽しみながら走っている方に、身近な所で走ることが出来るようにと設定したものです。

あなたも体力づくりに走ってみませんか。

コースには、走る速さのめやすや走るときの注意などが、案内看板に書いてありますので、よく読んでからご利用ください。

走る速さのめやす(往復1200M)		
はじめて走る人	10分ぐらいで走る	時速7 km
少し走ったことのある人	8分30秒 "	8.5 km
走ること自信のある人	7分30秒 "	9.5 km
体力のある強い人	6分 "	12 km

夜間照明使用料決まる

国見台球技場

既存スポーツ施設の利用時間の拡大で、有効的な活用をはかろうと、国見台球技場に夜間照明施設の整備を行い、昨年11月から一般に開放し、延1,187人の方が利用されました。

これの照明施設使用料については、開設年度は無料としていましたが、昭和54年度第1回定例市議会で、本年度から次のとおり使用料を徴収することが決まりました。利用期間は4月から11月までです。

◎国見台球技場夜間照明施設使用料(片面)

種目	専用使用料	
	1時間	30分
一般	1,500円	750円

世戸常德教育委員長ご逝去

教育委員長世戸常德氏(51歳)は病氣療養中でしたが、2月26日に亡くられました。

世戸氏は、昭和49年9月に教育委員に就任され、昭和51年4月から教育委員長として、学校教育、社会教育をはじめスポーツ振興、文化財保護など各分野にわたり伊万里市教育の振興発展に手腕を発揮され、これからの活躍が期待されていました。謹んでお悔やみ申し上げます。



▲故 世戸 常德氏

固定資産評価審査委員を選任

山口頼朝・馬場兼男氏

市固定資産評価審査委員会委員の山口頼朝氏(黒川町真手野=57歳)が、3月31日で任期満了するため、改めて同氏を再任しました。

また、馬場兼男氏(松浦町中野原=55歳)が、久保田勝次氏の任期満了に伴い、新たに選任されました。

善行生徒43人を表彰 (伊中育友会)

健全な芽を育てようと

大坪公民館4月3日に開館

地域コミュニティの拠点に

大坪町柳井町の旧市役所跡地に建設していた大坪公民館が、このほど完成しましたので、4月3日から開館いたします。

大坪公民館は、昭和53年度事業として1億2,258万円(鉄骨平屋=729㎡)をかけ、事務室のほか、講堂・大会議室・研修室(2)・図書室・調理実習室や談話コーナーのロビー、視聴覚機具などを備えた近代的な公民館で、地域住民のより身近な公民館として、町づくり、社会づくり、文化づくりを推進していく、地域コミュニティの拠点として活用されます。

市は、これまで年次的に進めてきた地区公民館の建設が一応完了したので、昭和53年度以降は市街地周辺の大坪、大川内、牧島地区に、それぞれ地区公民館を設置する計画で、大坪公民館を建設したものです。

伊万里中学校(副島広治校長=1,150名)の育友会校外補導委員会は、市内で初めての善行生徒表彰制度を設け、3月3日鈴木博之君ら43名の善行生徒を表彰しました。

同校外補導委員会では、ただ単に、非行少年を補導することよりも、それをとりまく社会環境をみつめなおし、子供を非行や事故から守り、明るく楽しい学校や社会づくりを進めるため子供の健全な芽を育てようと、善行生徒表彰制度が設けられたものです。

善行生徒は、あいさつ、家庭での手伝い、部落清掃や新聞配達などで他の模範となっている生徒など、小さな善行でも本人はもちろん、他の生徒の励みになるものを対象に、各部落の校外補導委員さんらが推せんをした生徒です。

表彰式で、校外補導委員長の藤野英一さんは、「これからも元気で励んで大きく育ててほしい。」と述べていました。

また、育友会長の光武久子さんは、「受賞者の中には逆境にありながら、がんばってきた人もおられ感激しています。みなさんの人に見えない所での善行は、本当に素晴らしいもので、高く評価されるものです。みなさんの善行に惜みない拍手を贈ります。」と感謝の言葉を述べていました。



▲表彰を受ける伊万里中学校の善行生徒

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その3～

公民館に花を飾る藤井さん母娘

田中さんは二里小に

二里町福母の藤井ツネ子さん（59歳）は、地域住民の寄り所である公民館を美しく飾り、来館される町民の皆さんに和やかな中で利用してもらおうと、週1回、二里公民館に花を飾っておられます。

藤井さんは、2年前から娘の多鶴子さん（33歳）や近所の方と、自宅で生花を習っておられ少しでも社会のお役に立てばと昨年7月から二里公民館に習った生花を飾っているものです。

家事の都合で行けない時は、娘の多鶴子さんが代わりに生けておられ、ほほえましい母娘の姿に、公民館館長の福田さんは「殺風景で寂しかった公民館がおかげで明るくなり、来館される町民の方に和やかなふん囲気

で利用してもらうことができ感謝しています。」と語っていました。

また、藤井さんと一緒に生花を習っている、二里町金武の田中絹代さん（39歳）も、二里小学校に花を生けておられます。心あたたまる善意に感謝いたします。



▲二里公民館に花を生ける藤井ツネ子さん

町を美しくと手作りのゴミカゴを設置

美化活動に励む大川内山青年団

大川内町青年団（淵上幸雄団長＝67名）は、ふるさとを若者の手できれいにしようと美化運動に取り組んでおり、焼き物の里、大川内山支部（11名）では手作りのゴミカゴを街角に設置

しています。

ゴミカゴは灯油やカン詰などの空カンを利用したもので、注意を引くためペンキでカラフルな色を塗り、バス停留所や道筋の電柱に固定させるなどして設置し

ています。

以前は、日曜日の朝早く団員が沿道などに散乱しているゴミをゴミ袋に入れて回収していましたが、いつまでたってもゴミが道路に捨てられるのを見て、ゴミ入れが不足しているからだと考え、ゴミカゴを作り設置したとのことでした。

今では、ゴミカゴに捨てられたゴミを処理するだけで、道路にはゴミが捨てられなくなったとのことで、支部長の佐藤真也さんは「全国各地からおいでになる観光客の皆さんを、気持ちよくお迎えしたいと思いたちました。これからも、若者の手で明るい町づくりを進めていきます。」と話していました。



▲手作りゴミカゴが置いてある大川内山

昭和53年

火災・救急統計

市消防本部は昭和53年中の市内の火災統計と救急統計を発表しました。

〔火災統計〕

この統計によると火災発生件数28件、死者7名、負傷者4名損害額7,163万円にもなっています。火災発生状況を見ると次のグラフのように建物と林野

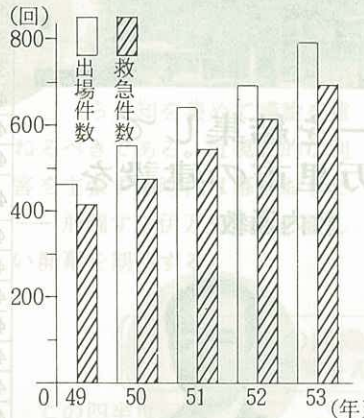
の火災が全体の85%を占めています。また、出火原因では、たき火、たばこ、火入れ(野焼き)ふろ、ライターなどが上位を占めています。月別の発生件数では3月、4月と11月、12月が特に多いようです。

〔救急統計〕

一方、救急統計では救急車の出場総数は793件で、そのうち急病、交通事故、一般負傷によるものが全体の約80%を占めています。また、過去5年間の出場件数をみると、1年に約100件づつ増加しており、昭和53年は1日平均2.2回出場したことになります。

◆ 救 急 ◆

過去5年間の出場件数

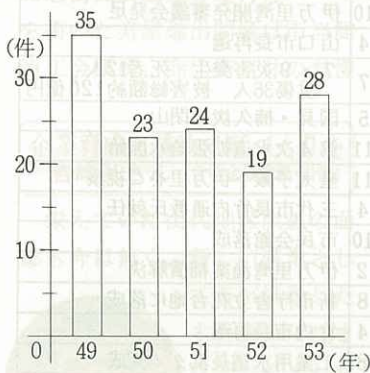


救急車の原因別出場数



◆ 火 災 ◆

過去5年間の火災発生状況



出火原因別火災発生件数



市民会館 4月1日から使用料改定

市民会館の使用料が4月1日から次の表のように改定されます。

また、入場料を徴収する催しものなどでは、これまで300円

を超える入場料の場合、使用料が2倍になっていましたが、この基準料金を500円に引き上げ低入場料金の催しものを優遇するように改正されました。

市民会館使用料金改定表

区分	時間	(単位：円)					
		9:00~12:00	13:00~17:00	6:00~22:00	9:00~17:00	13:00~22:00	9:00~22:00
ホール	平日	10,000	18,000	20,000	28,000	38,000	48,000
楽屋2室につき	土曜日 日曜日 休日	12,000	21,600	24,000	33,600	45,600	57,600
大会議室(ホール)		5,700	10,000	12,000	17,000	23,000	28,000
第1会議室		1,400	1,800	2,000	3,200	3,900	5,400
第2会議室		900	1,200	1,400	2,100	2,600	3,600
第3会議室		700	900	1,200	1,600	2,100	2,800
楽屋(1室につき)		200	300	500	600	800	1,000
設備器具		市長が定める額					

あなたと
考える

市制25周年を語る

生きがいのある都市づくりを



市民のエネルギーを結集して 大伊万里市の建設を

伊万里市長 竹内通教



市制25周年に当り、昭和29年9ヶ町村合併の偉業を心から感謝したい。当時は広すぎるとの声もあったとか、広いことはそれだけ潜在能力の大きいことで事実その後伊万里湾には大企業が立地し、市街地は再開発されて近代化に向い、農村また旧藩時代の畦が一扫されると共に野山も一面フルーツ園に変わり、しかも労働力・購買力は互いにもちつもたれつして調和ある潜在力の開発がなされてきた。

その昔入船出船で賑わった伊万里湾も合併当時は石炭積出しの出船だけ、炭鉱閉山してからは合板原木の入船だけに変わり今日造船が加わって、漸く入船出船の昔の姿に復するに至ったその間、産炭地の荒廃と不況を克服し、幾度かの大水害、殊に昭和42年の7・9災からも見

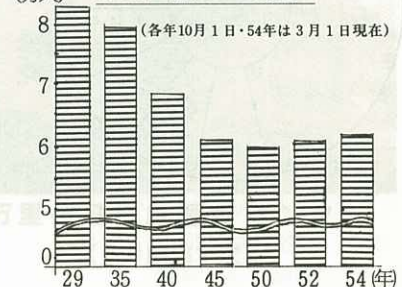
事に立直り、市民のエネルギーは結集されて市民会館や市庁舎の建設となり、昭和51年若楠国体では地元開催2種目共総合優勝という県下随一の成果をあげ遂に昭和52年体力づくり日本一の一大金字塔を樹立した。

市民のこのエネルギーは必ずや今のこの不況をも乗り越えてこれから伊万里市はその使命である広域圏の中核都市づくりを行い、東南アジア、中国志向の港をいかして貿易と生産を振興し、大伊万里市建設への次の25周年への出発をめざしたい。

市制25年の歩み

年:月	主 な 歩 み
29:4	伊万里市役所開庁式
29:4	初代市長橋口四郎氏就任
30:3	市議會議員選挙(182人→36人)
31:11	山代町入形石山地すべり 死者7人、家屋21戸が埋没
32:5	筑肥線にディーゼルカー開通
33:4	橋口市長再選
34:9	消防署設置
35:3	東山代干拓完成
36:5	自動式電話開通(伊万里)
37:4	二代市長山口正次氏就任
38:9	ラクダ産業誘致(誘致1号)
39:3	貿易第1船入港
40:4	市農協発足
41:10	伊万里湾開発審議会発足
42:4	山口市長再選
42:7	7・9災害発生 死者12人 重傷36人 被害総額約120億円
43:5	国見・楠久炭鉱閉山
44:11	第4次水道拡張給水開始
44:11	皇太子殿下伊万里をご視察
45:4	三代市長竹内通教氏就任
46:10	市民会館落成
47:2	伊万里湾漁業補償解決
48:8	新市庁舎立花台地に落成
49:4	竹内市長再選
49:8	工業用水道長浜ダム完成
49:8	名村造船第一船起工
50:6	龍門ダム完成 水不足解消
51:3	伊万里川改修工事完了
51:10	若楠国体開催(軟式野球・ホッケー)
52:10	体力づくり日本一受賞
52:11	国見トンネル開通
53:4	竹内市長三選
53:11	特定不況地域に指定

(万人) 伊万里市人口の推移



伸びゆく郷土に期待

キャンペーン
シリーズ No. 8

市制25周年を迎え、その歩みをたどってみると、炭鉱閉山・合板企業の誘致・水害・米の生産調整・造船所誘致など、時代の流れとはいいながら、いろいろな出来事が思い出されます。

四半世紀にわたる歩みを振り返り、これからの市政に期待するものを、市民の皆さんを代表して5名の方に語ってもらいました。

英知を集め飛躍する伊万里を 北古賀幸造さん (商業・仲町)

近代化への槌音も高い商店街も、駐車場、公衆便所、歩行者天国などの未解決な問題を包含しながら苦悩している。この商店街発展過程の跋行性を衝いた寿屋進出問題は市当局商工会議所、商店街自体の怠慢



をとがめた皮肉として反省しなければならない。この跋行性解決のため、関係者一同が一体となって、グローバルな立場から英知を集めて議論を重ねるべきである。近視眼的な利害を主張する時代は幕がおりた——飛躍する伊万里市政の新しい開幕を期待する。

企業育成と誘致で町づくりを 吉崎弘さん (合板企業勤務・山代)

栄えていた山代地区炭鉱の面影も今は無く、新しい産業として



市が誘致した木材都市に生まれ変わりました若者が市内に定着し活気ある町潤いのある町づくりをするには、伊万里にあった企業を誘致する事が肝要であると思います。また現在誘致された企業は、石油ショック以来厳しい試練に耐え、企業努力している実態です。誘致した企業をいかに育てていくかということも忘れてはならないと思います。これからの高齢化時代に備え、福利厚生施設の充実が必要です。厚生年金休暇センターの建設に期待しています。

この四半世紀の間に農業も作れば売れる時代から、いかに売れる物を作るかの時代となり農家の兼業化が進む一方、農業の基盤整備も進

農産物の組織的な販売対策を 高田吉兼さん (農業・南波多)



み水稻中心から果樹、畜産中心の大規模経営に変わりつつあります。一方、農産物の過剰生産、外国農産物の輸入など課題が山積しています。これから益々、産地間の競争が激しくなります。これまでの生産政策から組織的な販売対策への政策転換に期待します。

すぐれた焼き物を後世に 川副敏郎さん(陶磁器業・大川内山)

市制25周年の歩みと共に、我々の陶磁器業界でも、水害オイルショックなど幾多の試練を経て参りました。この間特に燃料の変化と共に大半がガス窯に合理化され、生産規模も著しく拡大され窯元の数も増加致しました。先に伊万里・有



田焼伝統的産業振興法の指定を受け待望の会館も建設されますが、これを機に原点にかえり伝産法に恥じない品質のすぐれた伊万里焼の製品を後世に残す義務があると思います。

伊万里の心を大切に 村岡 一さん (公務員・栄町)

伊万里は海と山と平野があり、暮らしやすいところである。更に住民がこの地に愛着をもち永住できる魅力は「伊万里の心」があるからである。私はこの目に見えない伊万里の心を探し求めて各地を描いている。



伊万里の心を大切に、発展させる為の「住みよい環境づくり」と「人間性豊かな社会づくり」に期待し、更に文化の香り高い伊万里を夢んでいます。

待望の施設完成へ

あなたへ
市政発展の拠点に



市民病院

(5月末完成、6月より新館で業務開始予定)



伊万里市消防署西分署

(3月24日落成)



山代西小学校体育館

(3月10日落成)



大坪公民館

(4月3日開館)



伊万里市隣保館・大川児童センター

(3月20日落成)



伊万里休日急患医療センター

(5月開館予定)

いま

市民体力づくり大会に2,000人集う

3月11日

楽しい腰岳ハイキング

ハイキングコーナーに参加した皆さんは腰岳の中腹にあるトラピスト前の野原で、ゲームやレクレーションをして楽しくすごしました。



スポーツの基本はかけ足から

無理をせず、自分の体力に合わせてスピードで走るジョギング。陸上競技場のトラックや周辺を元気よくかけ回りました。



老いも若きもみんな楽しく民踊、フォークダンスコーナーの会場は、子供から、おじいちゃん、おばあちゃんまで踊りの好きな人でいっぱい。

山野をかけるオリエンテーリング
地図と磁石をたよりに山の中に設定されたポストをさがします。二十か所のポスト目指して、思いおもしろい方向へいっせいにスタート。

伊万里で



老人ゲートボール大会
「ゲートボールばせんと夜も日も暮れん」ほどに人気のある、ゲートボール。各町代表の大熱戦。(3/13)



消費生活展開催
くらしの中の資源と安全を見直そうと市中央公民館で開催された消費生活展。(3/24・25)



新しい希望を胸に中学校へ
在校生の鼓笛隊に見送られて学校を巣立つ卒業生(波多川小学校で 3/20)



新入学児童に黄色いワッペン (3/22)
新入学児の交通安全を祈って、今年も黄色いワッペン1,150枚が配られました



8日は県知事・県議
22日は市議

統一地方選挙

明るい選挙は わたしたち一人一人の手で



今度の選挙で 投票できる人

県知事・県議会議員選挙で投票できる人は、昭和34年4月9日までに生まれた方で、昭和53年12月12日までに住民基本台帳に登録されている方、また、市議会議員選挙は昭和34年4月23日までに生まれた方で、昭和54年1月10日までに住民基本台帳に登録され、市内に居住している方です。

入場券を受け取っていない方がありましたら、市選挙管理委員会までお問い合わせください

投票日に不在の人は 不在者投票を

投票日に仕事などの「やむを得ない事情」で投票所に行けない方のために、不在者投票制度が設けられています。

不在者投票ができる期間は、告示の日から投票日の前日まで、市選挙管理委員会（市役所東入口、税務課の横）事務局ま

4月は統一地方選挙が行われます。4月8日は県知事、県議会議員が、また、4月22日は市議会議員の投票日です。

選挙は、わたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしをよくするための「意思表示」です。このたびの地方選挙は、わたしたちの意志を県の政治市の政治に反映させる大切な選挙です。

この人ならと信頼できる候補者を選び投票しましょう。

たは各公民館でできます。

代理投票をされる方は、当日係員にお申し出ください。

不在者投票する時は、投票日に不在であることを本人が申し出、印鑑および入場券をご持参ください。

投票所の一部変更 お知らせ

伊万里第3投票所は、これまで大坪小学校で行われていましたが、今回から4月に新築開館した大坪公民館で行われます。

次の方は郵便で 投票できます

身体に重度の障害のある方は郵便によって不在者投票をすることができます。

身体障害者手帳、戦傷者手帳が交付されている方で、例えば身体障害者（1級～2級）で、両下肢や体幹の機能、心臓、じん臓、呼吸器の機能の障害（1級～3級）のある人などです。詳しくは選管にお尋ねください

身体の障害などで 書けない人は代理投票を

身体の故障などのため、自分で投票用紙に候補者の氏名を書くことができない人のためには代理投票が認められています。

こんな投票は 無効です

- せつかく投票しても、次のような投票は無効になります。
- ◎決められた投票用紙以外の用紙に書いて投票したもの。
- ◎2人以上の候補者の氏名を書いたもの。
- ◎候補者の氏名のほかに、余計なことを書いたもの。
- ◎候補者の氏名を自書しないもの。たとえばゴム印使用など
- ◎白紙やだれかわからないものなど。

あなたの投票所は

投票時間 午前7時～午後6時

投票区	投票所	投票区 域
伊万里第1	伊万里市民会館	伊万里町甲・乙、松島、下松島、脇田、平山、岩立、木須東、蓮池町、中井樋、陣内、二里町東八谷搦、弁天町
伊万里第2	牧島小学校講堂	木須西、本瀬戸、中通、早里、漁港、山代町釘島
伊万里第3	大坪公民館	上古賀、下古賀、六仙寺、祇園町、柳井町、白野、永山、屋敷野、東円、西円、栄町
伊万里第4	伊万里市役所	渚、富士町、新天町（中井樋を除く）、立花台1, 2, 3, 4丁目
伊万里第5	大川内小学校講堂	岩谷、小石原、市村、市山、大川内山、正力坊、吉田、福野、平尾
黒川第1	黒川公民館	福田、浦潟、干潟、大黒川、奥野、塩屋、小黒川、浦分、黒塩、椿原、名村団地
黒川第2	立目分校	清水、横野、立目、牟田
黒川第3	東黒川小学校講堂	花房、畑川内、長尾、真手野
波多津第1	波多津公民館	畑津、内野、煤屋、馬蛤潟、辻、浦
波多津第2	波多津東小学校講堂	木場、開拓、筒井、井野尾、田代、板木、津留主屋、中山
南波多第1	南波多公民館	古川、笠稚、小麦原、大川原、府招下、府招上、原屋敷、井手野
南波多第2	波多川小学校講堂	高瀬、大曲、水留、古里、谷口、重橋、開拓
大川	大川公民館	宿、川西、駒鳴、片竹、戸石川、山口、井手口、東田代、長野、川原、相の谷、立川
松浦	松浦公民館	東分、上原、下分、下平、梅岩、岳坂、村分、藤の川内、久良木、宿分、上分、中通、金石原
二里第1	川東公民館	西八谷搦、川東
二里第2	二里公民館	内の馬場、金武、大里、福母
二里第3	作井手公民館	作井手、古子、中田、吉野、川内
東山代第1	東山代公民館	里、長浜、日尾、天神、脇野、浦川内、東大久保、福和
東山代第2	大久保保育園	大久保、福住、国見
東山代第3	滝野中学校講堂	下分、滝川内、川内野、辻の堂、日南郷
山代第1	楠久公民館	楠久津、楠久、福川内、城、峰、鳴石
山代第2	山代公民館	久原一区、久原二区、久原三区
山代第3	山代西小学校講堂	浦の崎、川南、立岩、西分、向山、西大久保、野々頭、東分

5月5日 竹の古場
つつじ祭り
ご家族おそろいでどうぞ

5月5日、こどもの日には、ご家族おそろいで、つつじの名勝竹の古場公園のつつじ祭りにお出かけになりませんか。

当日は、だれでも楽しくすごせるよう盛りだくさんの行事が準備されています。

▲期 日 5月5日(土)

こどもの日(雨天の場合は中止)

▲場 所 竹の古場公園(東山代町滝川内)

- ▲催し物
- ・スケッチ大会
 - ・たこ上げ大会
 - ・野営料理
 - ・宝さがし
 - ・山ノ寺史跡探訪
 - ・ピンクレディものまね大会
 - ・カラオケのど自慢大会など

山林資源を

火災から守りましょう

市内で昭和53年中に発生した林野火災は9件で、234アール1,475,000円の損害を出しました。

また、今年になってからも、すでに3件が発生し、20アール255,000円の損害をこうむっています。山林・原野などでの火の取扱いにはじゅうぶん注意しましょう。

春先に行われる、林野・原野などの火入れの際は市長の許可が必要です。必ず許可を得てから行いましょう。

火入れについての手続き、問い合わせは市消防署予防課(☎③4311内線41)へ。



▲つつじが満開の竹の古場公園

なお、つつじ祭りに参加される方の利便を図るため竹の古場までの貸切バスと野営料理、史跡探訪をセットした会員の募集を行っています。会費はおとな2,000円、子供1,800円です。会員として参加ご希望の方、および催し物のたこ上げ大会、カラオケのど自慢大会、ピンクレディものまね大会に出場ご希望の方は伊万里駅前の市観光協会(☎③3479)へ申し込みください。

問い合わせは市観光協会か市役所商工観光課(☎③2111、内線353・387)へ。

市の人口	
総人口	61,136人(+39)
男	28,973人(+22)
女	32,163人(+17)
世帯数	16,236世帯(-3)
市民課調べ、()は前月比	

4月 5月 市民会館行事予定

- [毎週金曜日] 9時30分～15時
- ・運転免許証更新時講習会 [4月]
- 8日(日) 7時～24時
- ・県知事・県会議員選挙役開票
- 11日(水) 9時～17時
- ・新入社員研修会(商工会議所)
- 22日(日) 7時～24時
- ・市会議員選挙投票開票
- 29日(日) 9時～13時
- ・原付免許講習 [5月]
- 1日(火) 9時～12時(ホール)
- ・メーデー(伊万里地区労)
- 1日(火) 13時～17時(ホール)
- ・ほほえみ座公演
- 1日(火) 9時～15時(会議室)
- ・こどもピアノ発表会

4月12日(木)

献血にご協力ください

ユニード前駐車場

伊万里ライオンズクラブと伊万里青年会議所は、県の移動採血車「しろはと号」による採血を、下記のとおり行います。

採血前に医師の健康診断があり、採血後も特に休養をとる必要はありません。健康なとき、お互いが献血に協力し、万一の場合に備えましょう。

▲日 時 4月12日(木) 午前10時から午後3時まで

▲場 所 ユニード前駐車場

▲採血量 200cc(約牛乳びん1本分)

昭和53年

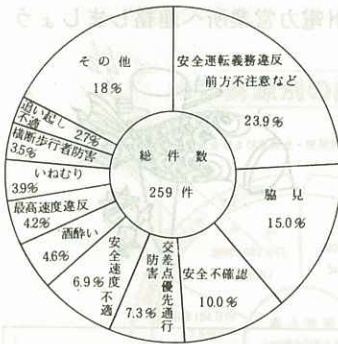
市内交通事故白書 (資料:伊万里警察署)

昭和53年中に市内で発生した交通事故の調査結果が伊万里警察署から発表されました。

この調査によると、発生件数は259件、死者6名、負傷者338名となっており、前年に比べ、発生件数27件、死者1名、負傷1, 市内の交通事故発生数



2, 原因別交通事故発生率



町別飲酒運転検挙者数

(昭54.2.28現在 伊万里警察署調)

町名	1月	2月	累計
伊万里	6人	3人	9人
黒川	1	2	3
波多津	1	1	2
南波多	0	2	2
大川	0	1	1
松浦	0	0	0
二里	0	1	1
東山代	1	0	1
山代	0	1	1
(市外)	5	6	11
計	14	17	31

者45名、それぞれ減少しています。しかし、まだまだ交通事故の犠牲者はあとを断ちません。

悲惨な交通事故を起こさないように、また、あわないように一人ひとりが注意し、交通事故の撲滅に立ちあげましょう。

3, 年代別歩行者事故数(総数 72件)

年代	件数	割合
未就学児	13件	18%
小,中,高校生	14件	19.7%
40歳未満	7件	9.7%
70歳未満	26件	36.1%
70歳以上	12件	16.6%

軽自動車税が
変わります

地方税法の一部改正に伴い、昭和54年度から軽自動車税の税額が次のように変わります。

▶原動機付自転車

- 50cc以下 650円→ 700円
- 90cc以下 1,000円→ 1,100円
- 125cc以下 1,300円→ 1,450円

▶軽自動車及び小型特殊自動車

- 2輪車 2,000円→ 2,200円
- 3輪車 2,600円→ 2,850円
- 4輪乗用 5,900円→ 6,500円
- 4輪貨物 3,300円→ 3,650円

1歳6か月児健康診査

▲対象者 昭和52年9月生まれの幼児(市内全域)

▲日時と場所

- 4月19日(木) 受付13時30分から14時30分まで
- 市役所4階大会議室

▲検診内容 身体の発育と栄養状況 疾病と異常の有無 行動発達の状況と異常の有無など

※母子健康手帳を持参ください



貿易額は33億4,000万円で、前月比19億4,700万円の増。

輸出

24億8,500万円で内訳は新造船(リベリア向けコンテナ船)1隻。

輸入

8億5,300万円で内訳は南洋材が6億6,900万円、米材1億8,400万円、その他ろう石(陶器の原料、韓国産)が210万円

船舶の入港

日本船3隻、外国船10隻(大韓民国1、台湾1、パナマ7、リベリア1)の計13隻で前月比9隻の減。

・小型特殊車(農耕作業用、乗用コンバインを含む)

1,300円→ 1,450円

・その他の小型特殊車

3,900円→ 4,300円

▶二輪の小型自動車

3,300円→ 3,650円

お問い合わせは市役所税務課管理係(☎2111内線233)へ

成人病・妊婦健康相談

▲期日と場所

- 4月17日(火) 黒川公民館
- 南波多公民館
- 4月24日(火) 松浦公民館
- 山代公民館

▲成人病相談 血圧測定、検尿 高血圧の予防など

○時間 10時~11時30分

▲妊婦健康相談 妊婦、分娩、産褥期の保健衛生など

○時間 13時~14時30分

あなたもふるさとを 撮ってみませんか

佐賀県観光写真コンクール

佐賀県内の名勝、史跡、風俗等を題材とした観光写真を募集します。

▲応募規格

- カラースライドの部 (35mm以上)
- カラープリントの部 (4切)
- 白黒の部 (4切のプリント)

ただし、1年以内に撮影した未発表のものとし、継ぎ、合成組写真は認めない。

▲応募資格 県内在住の方

▲締切 6月30日 (当日消印有効)



▲問い合わせ及び作品の送り先

佐賀県観光連盟 観光写真コンクール係 (〒810 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県経済部観光課内 ☎0952-25-2148)

伊万里市のおもな観光資源

- トンテントン秋祭り
- 春の陶器市 (商工春まつり)
- 玄海国定公園
 - 大平山の草スキー
 - 高尾山の1,000本桜
- 竹の古場つつじ祭り
- 国見スカイライン
- 松浦党発祥の地「山ノ寺」
- フルーツ狩り、大野岳
- トラピスト修道院
- 万明山円通寺、城山公園
- 大川内山窯元めぐり
- 小島古墳公園
- 脇野の大念仏・府招浮立など

鯉のぼりは

安全な場所に立てましょう

さわやかな初夏の風物詩、鯉のぼりも電線の近くで泳がせると思わぬ感電事故につながりかねません。事故防止のため次のようなことにご注意ください。

◆電線にふれる場所に、鯉のぼりを立てないようにしてください。

◆鯉のぼりの支柱を立てたり、倒したりするとき、電線にふれないよう注意してください

※もし、鯉のぼりが電線や電柱に引っかかった場合は、自分で電柱に登ったり、物干しさおではずしたりせず、すぐ近くの九州電力営業所へ連絡しましょう



特設人権相談

人権や相続、家庭の問題などについて、人権擁護委員が相談に応じる無料特設人権相談所を次のとおり開設いたします。

▲日時 4月27日 10時～15時

▲場所 山代公民館

▲担当 人権擁護委員

水上房代氏

法務局伊万里支局職員

伊万里エビネ蘭展示会

▲日時 4月21日～22日
10時～17時

▲場所 伊万里玉屋
5階ホール

☎ テレホン相談 ☎

～青少年問題もお気軽に～

0952-29-3741

佐賀県警察本部では、交通問題や、青少年の非行問題など、みなさんの身近に起こる問題について、相談をお受けする「テレホン相談係」を設けています。困ったことや、お尋ねになりたいことなどありましたら、気軽にご相談ください。

▲受付時間

8時30分～17時30分 (日曜・祝日を除く) ただし、土曜日は12時30分まで。

▲電話 0952-29-3741

婦人週間4/10～16

婦人問題特別相談

4月10日から16日までは婦人週間です。「男女の平等と婦人の社会参加をすすめる」をテーマに婦人の地位向上と啓発活動が全国的に展開されます。

また、この期間中に婦人問題に関する特別相談を受けます。労働問題、家庭問題、法律問題、子供の教育問題など何でも結構です。お気軽においでください

〔日時〕 4月14日(出) 15日(日)
午前10時～午後4時

〔会場〕 伊万里玉屋2階

東側ロビー

伊万里湾小型船舶安全協議会 会員募集

海の航行の安全と正しい海洋レジャーのマナーを身につけ、海の男の親睦を深めようと「伊万里湾小型船舶安全協議会」が設立されました。

小型船の製造、販売、修理などをされている方、小型船の所

有者、会の主旨に賛同される方などご参加ください。会費は年額1,000円です。

入会希望の方は伊万里湾小型船舶安全協議会事務局（立花町西円造寺 伊万里発動機内 ☎③2780）へ申し込みください

内職相談

内職就業に関する相談やあつせん、技術援助を図るため県の内職相談センターでは指導員を配置して相談に応じています。

- ▲相談日 毎週水曜日
- ▲場所 市役所市民相談室
- ▲相談員 田中すみ子さん

- 次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。（敬称略）
- 社会福祉協議会へ
- ◆香典返しを寄付
 - 田邊イク子（二里町東八
 - 福田利弘（二里町川東
 - 父幸助
 - 橋口鐵男（木須町木須西
 - 父乙三郎
 - 小島正則（黒川町浦分
 - 力武熊次（二里町大里
 - 妻コト
 - 前田利男（二里町大里
 - 妻ハギノ
 - 浜崎政興（山代町久原二
 - 区 亡斎藤ハツエ
 - 前田勝美（大川内町市村
 - 父徳次
 - 山口文子（大川内町正力
 - 坊 亡夫忠治
 - 古川善雄（伊万里町朝日
 - 町 亡長男善大
 - 井上喜久子（黒川町福田
 - 父年雄
 - 前山 博（木須町木須東
 - 父長右エ門
 - 藤井チエ（山代町楠久津
 - 亡岩瀬いね
 - 中島健次郎（大坪町上古
 - 賀 亡妻チヨノ
 - 吉原隆信（連池町 亡妻
 - 勢子
 - 塚本洋雄（波多津町浦
 - 亡篤シノ
 - 堀江茂男（伊万里町本町
 - 父春一

- 杵嶋サダ（山代町釘島
- 亡夫梅一
- 松永チヲ（伊万里町船屋
- 町 亡夫福吉
- 金子嘉昭（山代町浦の崎
- 父源蔵
- 牧野敬太郎（黒川町塩屋
- 亡三男秀範
- 前田和彦（南波多町井手
- 野 亡父進
- 川内武美（大川内町小石
- 原 亡父福一
- 田中ミサヲ（大川内町正
- 力坊 亡夫正太郎
- 轟木義光（東山代町里
- 父金六



- 二千五百円 山本数雄
- 伊万里町東新町 期限満了の拾得金
- 五千元 牧野敏昭（東京都 伊万里警察署経由）
- 五百円 波多毅（南波多町府招 期限満了の拾得金）
- 老万六百三拾五円 伊万里農林高校生徒会（文化祭チャリティバザー収益金を）
- ◆指定寄付
 - 大崎昭二郎（松浦町下分
 - 亡父弥平 香典返しを身体障害者福祉協会へ）
 - 大川内九（木須町木須東
 - 亡母ツネ 香典返しを老人福祉センターへ）
 - 六千元 匿名（大坪町伊万里向陽園へ）
 - （累計六九二万、一三八円）
 - ◆教育振興奨励基金へ
 - ◆香典返しを寄付
 - 小島正則（黒川町浦分
 - 力武熊次（二里町大里
 - 亡妻コト
 - 前山 博（木須町木須東
 - 父長右エ門
 - 大川内九（木須町木須東
 - 亡母ツネ
 - 堀江茂男（伊万里町本町
 - 亡父春一
 - 川内武美（大川内町小石
 - 原 亡父福一
 - 世戸憲男（伊万里町今町
 - 亡父常徳）
 - ◆見舞い返しを寄付
 - 牟田 清（松浦町村分

- ◆篤志寄付
 - 拾万円 飯田正一（立花町西円造寺 長男の卒業を記念して大坪小児童図書充実費へ）
 - ◆体育振興奨励基金へ
 - ◆香典返しを寄付
 - 世戸憲男（伊万里町今町
 - 亡父常徳）
 - ◆篤志寄付
 - 老万円 中島絃一（新天町六五四）
 - 参千元 高志充園（南波多町原屋敷 健康づくり講座講師謝金を）
 - 市民病院事業整備資金へ
 - 前田利男（二里町大里
 - 亡妻ハギノ 香典返しを）
 - 大川内町公民館
 - ◆建設資金へ
 - ◆香典返しを寄付
 - 川内武美（大川内町小石
 - 原 亡父福一
 - 波多津町コミュニティ
 - ◆香典返しを寄付
 - 上田 隆（波多津町木場
 - 亡養母トミ）
 - ◆南波多公民館
 - ◆施設整備資金へ
 - ◆香典返しを寄付
 - 前田和彦（南波多町井手
 - 野 亡父進）

三月号寄付欄中、嶋田春水さんの寄付額が五万円と誤りです。お詫びして訂正いたします。

こ ども の ペ ー ジ

くにみ 国見中学校 (駅伝部)

伊万里市スポーツ賞を受賞

3月15日、国見中学校に伊万里市スポーツ賞が贈られました。これは、同校駅伝部が昨年秋に行われた、伊万里市西松浦郡中学校駅伝大会、および佐賀県中学校駅伝大会に連続優勝するというすばらしい健闘をたたえ贈られたものです。

特に、県大会では中学生として初めて県西部に優勝をもたらし、地区中学生のスポーツへのやる気を高めた功績が認められました。

例年、市スポーツ賞は秋の市民体育祭のとき授与されていますが、今回は駅伝部の主なメンバーが卒業するため、特別に時期を早めて行われたものです。

〔受賞したメンバー〕

- 桑原宏司君 (東山代町浦川内)
- 草野武生君 (東山代町国見)
- 土田弘伸君 (東山代町福住)
- 松尾和久君 (二里町川東)
- 松尾秀己君 (東山代町里)
- 真弓哲也君 (東山代町里)
- 力武和則君 (東山代町里)
- 山口政彦君 (東山代町脇野)
- 高御堂和仁君 (二里町川東)



伊万里市子どもクラブ

ジュニアリーダー研修会

3月10日・11日に「伊万里市子どもクラブジュニアリーダー研修会」が、黒髪少年自然の家で行われました。

参加したのは市内の子どもクラブでリーダーとして活躍している6年生の男女、74名です。最初は違う学校の人同志が、

同じ班になって、話もなかなかはずまなかったようですが、入浴やキャンドルの集い、自由交歓などをしていくうちに、すっかり仲間の輪ができあがり、翌日の、わんぱく大冒険では黒髪山の自然の中を自由に走り回って、明るく、のびのびした研修ができました。

私は三月十日、十一日にあった、一泊二日の子どもクラブジュニアリーダー研修会へ、参加することになった。初めてあった人たち、なんだか、なれないような感じで、あまりしゃべれなかった。部屋にはいってもシーンとしたままで、「本



黒髪山の思い出
山代町子どもクラブ
福田 裕子

ここにきて、最高にうれしく、勉強になったこと、それは、また友達があつたことです。

次の日の「わんぱく大冒険」も、みんなと力を合わせて、いくつもの難所をきりぬけた。おわたあとも、なんとというか、すつきりしてさわやかな感じでした。



▲キャンドルの集い

当に、これで明日までいっしょにくらせるだろうか」などと思つて、友達になりにくかった。でも、ちょっとしたことでも、すぐしゃべれる仲間になった。力を合わせてふとんを出したり、こたつを出したりしているうちに、ふつうの友達みたいにはしゃいでいた、ねる時、おそくまでしゃべっていて、十二時ぐらいまでおきていた。おかしい話をしたので、となりから、「わらい声がうるさい」とまで、どなられたくらいだった。